

キャリア教育新聞

No.7

2025年8月
発行

共創共学
プラットフォーム
(塩尻市教育委員会委託事業)

職場体験ラッシュ

市内五校で実施される

7月は市内の5つの中学校で2年生を対象とした職場体験が行われた。榑川小中学校では、職場体験のねらいを明確化し、職場体験の中で①仕事を体験する機会②働く想いに触れる機会③生徒が何かチャレンジできる機会の3点を可能な限り設けてもらうよう受け入れ事業所に依頼をした。中には学校の希望を実現させるため、学校からの依頼を受け、受け入れ事業所の開拓や受け入れ担当者に對して「働く大人の価値観」をテーマにアンケートを行うなどの支援をした。

事前学習で生徒は、体験事業所を調べるとともに大人との対話で深めたいことを考えた。

職場体験当日は、仕事を体験することはもちろんのこと、働くことについて大人と対話をしたり、プレゼンに挑戦したりする生徒の姿が見られた。また、受け入れ先を可能な限り大門地区の事業所から選定したことにより、距離が近い事業所間では一部の体験を連携して行なうという新たな動きが見られた。子どもたちが将来どのように働きたいかを体験的に考えることのできる職場体験は貴重な機会であるが、体験をして終わりにならないよう、受け入れ事業所とねらいを共有し、事前事後学習を計画的に実施したりすることが大切である。



▲よう壁ブロックの重さを体験
(清沢土建(株)にて)



生徒の声
(建設土木業を体験)

将来、JRで駅員として勤めたいと思っていますが、線路の保線には建設土木工事がなくてはならない仕事なので、体験したくて希望しました。会社の方の説明を聞いていると、この仕事が私たちの生活を守ってくれていることがよくわかりました。大雪が降った時や災害発生時には、その陰で懸命に復旧に働いている方のことを思い出したいです。



先生の声

3日間無事に終了することができました。(事業所から)子どもたちは宝物のような言葉をたくさんいただき、すてきな姿をたくさん見せていただいたようです。みな(生徒)楽しかった!行ってよかった!と振り返っていました。

共創共学プラットフォームメンバー紹介

塩尻市中央公民館

館長 青柳信雄

塩尻市中央公民館長の青柳信雄です。学校教育に携わっているときに、社会教育、生涯学習を学ぶ機会を得ました。親と先生と友だちだけではない魅力ある大人、「ナメの関係」の大人や先輩に出会うことは、子どもたちの成長にとって欠かせないことだと感じました。小中高生が、地域の魅力ある大人と出会ったり、地域の魅力をもてるような体験を積み重ねていくお手伝いできればと考えています。

【7/31開催】塩尻市キャリア教育委員会 第1回研究部会

令和七年度塩尻市キャリア教育委員会では、各校代表の先生方が、三つの研究部会に分かれて、キャリア学習プログラムの開発につながる研究協議を行う部会を企画しました。第一回は、三会場に分かれて三時間程度の協議を行い、校種・学校を超えて同じ課題をもつ五〜七名の先生方は有意義な時間を共にしました。今後、部会ごとに最大二回研究部会が行われる予定です。

- 【部会(委員校種)】
- ・小学校研究部会(小学校)
 - ・企業見学・職場体験研究部会(小中学校)
 - ・探究型キャリア教育アワード発表会研究部会(中学校・高校)

◆お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局 (NPO法人MEGURU)
塩尻市教育委員会事務局学校教育課 (0263-52-0280 内線:3112)